



# キラリ輝く御宿小

御宿小学校 学校だより

令和6年2月1日 No.12

## 春はそこまで・・・



一年で最も寒い時期だとされる大寒（1月20日）を過ぎ、2月の声を聞くと、待ち遠しいのが暖かな春です。立春（2月4日）間近となりました。とはいえ、寒さは一段と厳しさを増しますが、子ども達は、冬の寒さを耐え大地にしっかり根を張る草木のように、自分の足場を固め、新しい学年を迎える準備をしています。1年生はすっかり学校生活に慣れ、元気に勉強や運動に励んでいます。2～5年生は、進級を今かと待つまでに成長しています。そして6年生は最上級生としての自覚を日に日に高め、頼もしい存在として信頼を得ています。

今年度の子ども達の登校日数は、残すところ6年生で30日、1～5年生で34日となっております。春、芽吹きと共にさらに大きく成長できるよう支援していきたくと思います。今月も御支援御協力をよろしくお願いいたします。



### 子供たちの様子



#### 御宿小学校・布施小学校学校寄席 ～創立150周年記念～ 1/19

講談師や落語家による演目、児童の体験、6年生代表児童の講談等を行いました。12月から練習に取り組んだ6年生の代表児童は、静御前と宮本武蔵の世界観を見事に表現し圧巻でした。さらに、神田紅氏による「五倫鬘物語」も披露されました。御宿小学校のために特別に創作していただいた作品です。創立150年の節目に、学校の歴史を振り返り、感動とふるさとに誇りを感じる素晴らしい機会となりました。



#### 学校公開・文集「あじろの子ら」展示・校内書き初め展 1/26

3年ぶりの参観制限のない学校公開を行うことができました。多くの御家族の皆様にご子ども達の日頃の学習の様子や書き初め等の作品を御覧いただくことができました。さらに、図書室では「あじろの子ら」のページをめくっていただき、当時の思いをなつかしく振り返っていただきました。子どもも大人も笑顔いっぱいの学校公開となりました。



3年 親子と一緒に学習 「あじろの子ら」展示場

#### 6年生のために（1・2年生）

卒業式を彩るために、ノースポールの一人一鉢栽培を始めました。お世話になった6年生のために、卒業式まで一生懸命に世話をしていきます。きっと6年生への感謝の気持ちが込められた素敵な花が咲き、1・2年生の心が6年生に届くことでしょう。



#### 布施小との合同体育（6年生）1/23

御宿小対布施小の試合や合同チームによるミニバスのゲームを行いました。6年生は4月から一緒に中学校で学習する友達もいます。大変楽しい雰囲気です。学校間の交流も深まりました。



# 主な行事予定

各学年の下校時刻については、別紙配付の「行事・下校時刻予定」を御覧ください。

1日(木)	読み聞かせ ロング昼休み	15日(木)	読み聞かせ ロング昼休み
2日(金)	4年校外学習 (房州うちわ作り体験)		体重測定(高)
5日(月)	5年校外学習 (JFE スチール)	16日(金)	全校朝会
7日(水)	委員会活動	21日(水)	委員会・代表委員会
8日(木)	ロング昼休み 6年卒業旅行 1日目(ディズニーランド)	22日(木)	読み聞かせ ロング昼休み 2年歯磨き教室 家庭学習日
9日(金)	6年卒業旅行 2日目(マザー牧場) 交通指導	23日(金)	祝:天皇誕生日
11日(日)	祝:建国記念日	26日(月)	給食費引き落とし
12日(月)	振替休日	27日(火)	学力検査(国語・理科)
13日(火)	6年薬物乱用防止教室	28日(水)	学力検査(算数・社会・外国語)
14日(水)	クラブ活動 体重測定(低)	29日(木)	ロング昼休み
			<b>【3月の主な行事予定】</b>
		5日(火)	6年生を送る会
		15日(金)	卒業証書授与式
		22日(金)	修了式

## ～校歌誕生 65年～

夷隅郡市内の各小中学校の校歌に関する調査をまとめた、夷隅地方教育研究所の平成6年度研究紀要には、御宿小の校歌について次のように書かれています。

- 1 校歌制定年月日 昭和34年3月6日
- 2 校歌設定理由 是非、校歌を歌わせたいという学校の願いと、五倫同窓会や地域の方々の願いにより設定のはこびとなった。
- 3 校歌へのお願い 30年以上続いた本校の校長をされた、5代目校長伊藤鬼一郎先生の「五倫賛」に言葉をいれていただくようお願いした。
- 4 校歌制定にあたっての苦労やエピソード、また発表会の様子

五倫同窓会が学校のためにとということで募金活動して集めたお金をいただいた小林校長、塩田教頭は同窓生の鶴岡啓次氏らと相談して使うことにした。体育施設の充実、テレビが出始めた頃であったが、テレビを購入してテレビ教育を開始、さらに校歌の作成ということでご好意を生かすことになった。

作詞家白鳥省吾氏は詩人として高名な方であり、佐藤吉五郎氏は音感教育で名をなした方であるのに、二人の先生にお願いできたのは、同窓会の鶴岡氏の強い力添えがあったからである。

校歌の発表会は、古い講堂にいっぱいになるほどの方々が集まり、盛大に実施された。

- 5 校歌制定当時の学校の様子 児童数(939名) 学級数(20学級) 職員数(24名)

感染予防のために歌唱制限が続いてきましたが、音楽室からやっと元気な校歌の歌声を聴くことができるようになってきました。校歌を歌うことができる日々感謝し、ふるさとの美しさや誇り、子ども達への思いが込められた校歌は大切にこれからも歌い続けていきたいと思ひます。

